

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和5年6月23日
大気海洋部

梅雨前線及び台風第2号による大雨の状況について ～『災害をもたらした気象事例』に資料を掲載しました～

令和5年6月1日から3日にかけての梅雨前線及び台風第2号による大雨の状況に関する資料をとりまとめました。

気象庁では、大きな被害をもたらした気象事例や社会的な関心・影響が高い気象事例について、気象の状況をとりまとめて『災害をもたらした気象事例』として、ホームページで公表しています。

令和5年6月1日から3日にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、前線に向かって台風第2号周辺の非常に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、広い範囲で大きな被害が発生しました。

このことから、当時の大雨に関する資料をとりまとめ、『災害をもたらした気象事例』に掲載しました。

＜災害をもたらした気象事例＞（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index.html>

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課 牛島、大塩

電話 03-6758-3900（内線 4256、4257）